



2021. 7. 3

うっとうしい梅雨の季節。田んぼの稲は順調に生育、ウグイス・ホトトギス・コジユケイの声が谷津に響きます。7、8月はホタルの季節、今年もまた幻想的な光景を楽しむ鑑賞会を開催します。ニイニイゼミが鳴き始め、ザリガニ、カブトムシ、トンボ・・・子ども達の大好きな夏休みももうすぐです。

生きもので
にぎわう
里山の夏



シオカラトンボ



オオシオカラトンボ



アキアカネ



ナツアカネ



ノシメトンボ



ハグロトンボ



ベニシジミ



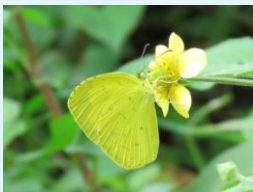
ヒメウラナミジャノメ



カタテハ



モンシロチョウ



キタキチョウ



スジグロシロチョウ



モンキチョウ



ヒメアカタテハ



ヤマユリ



ダイコンソウ



ツクサ



オオカモメツル



ユウガギク



ヌマトランオ



ヘイケボタル

<季節メモ> **ホタルの季節です！！**

堂谷津の里で光を放つヘイケボタルは、一生の大半を水の中で過ごし、地上での生活はわずか1週間程です。その間に子孫を残すため、雄と雌は光で交信します。その光は夏の夜、幻想的な耀きとなって私たちを楽しませてくれます。

陸のホタル「クロマドホタル」の幼虫も林縁で弱い光を放ちます。夏の夜の楽しみです。

写真・編集：晝間